



ドキュメンタリー映画 **紫** むらさき

かつて日本の色には独特なニュアンスがあった。風土が育んだ植物染料だけが表現できた色。化学染料に頼り、失われつつあった日本の色を取り戻そうと闘う男がいる。吉岡幸雄。失われた植物は農家と交渉し、栽培するところから始める。単なる染め職人ではない。優しい頑固者。これはその静かな闘いの記録である。

人間は火も使うけれども、それ以上に水を使う生きもの、工房の映像はそんな印象にあふれています。両手の中のペニバナのふくらみ、絞られる植物の隠したい香り、そういったものが眼にしか触れることのない「色」に生まれ変わる不思議。東大寺の二月堂では毎年「修二会（お水取り）」が行われますが、仏前を飾る椿の造花は、吉岡さんの工房で染められた和紙で作られています。二月堂内で、この世を一步踏み越えて咲き誇る、椿の色の故郷を、映画「紫」は私たちへ垣間見させてくれたような気がします。

東大寺教学執事 橋村公英

自然からいただく色の豊かさ、気高さ、美しさ。そして、なんという有り難さ。「染司よしおか」の手仕事のように、「ゆっくりゆっくりと」心に染みてゆく映画でした。

檀ふみ

吉岡さんの工房で初めて染め物の世界と出会いその奥行きに感動させられました。より多くの人々に是非知ってもらいたい神秘ともいえる世界でした。

ビートたけし

薬師寺は、三蔵法師として知られる玄奘三蔵ゆかりの寺ですが、吉岡先生には企画からご参加頂き、玄奘の求法の旅を「伎楽」として復元しております。奈良時代と同じ伝統的染織により再現された装束は、華やかさの中に暖かみがあり自然の美しさを感じさせてくれます。「紫」は、より四季の恵みを活かした繊細な色ゆめの日本の色を楽しませてくれます。

薬師寺 副住職 村上太胤



緑葉で染める藍
藍

黄赤色の花をつける紅花
紅

漢方薬のような染料の香り
黄

白い花をつける紫草
紫

出演 **吉岡幸雄** Sachio Yoshioka

福田伝士 Denshi Fukuda

染司よしおか Sometsukasa Yoshioka

〈協力〉

東大寺／東大寺 修二会堂司／山城松明講社／薬師寺／榎本孝明／天理大学
雅楽部／公益財団法人／日本文学振興会／The British Museum／奈良国立博物館／The Sainsbury Centre for Visual Arts／Norwich University College of the Art／The Japan Foundation, London Office／東北芸術工科大学芸術学部美術科
テキストスタイルコース

助成：文化芸術振興費補助金

〈スタッフ〉

プロデューサー：高田明男 監督撮影：川瀬美香 編集：大重裕二
音楽：瀬川英史 デザイン：ロリレイ コピー：白根有一 協力：イマジカ
製作配給：株式会社エーティーエムケー Art True Film.



「紫」公式HP: www.art-true.com/purple/
(関連イベントのご案内もあります)

吉岡幸雄公式HP: www.sachio-yoshioka.com
(「よしおか工房」の日常をお知らせしています)

2013年1月5日(土) ～1月11日(金) 12:20～(1日1回上映)

1月12日(土)～1月18日(金) 時間調整中

<料金> 前売り1,200円 詳しくはこちら <http://www.nanagei.com/>
当日一般1,500円 専門・大学生1,200円 中・高・シニア1,000円

第七藝術劇場

大阪市淀川区十三本町1-7-27
サンボードシティ6F
お問合せ TEL:06-6302-2073